

晏殊のプロフィール

宋、臨川の人。字は同叔。景德の初、神童を以て薦めらる。真宗召して進士と與に廷中に試みるに、筆を執って立ちどころに成り、直史館に命ぜられ、左庶子に遷る。官は仁宗の時、同中書門下平章事。

殊、平居賢を好み、范仲淹、孔道輔、歐陽脩等皆その門より出づ。宰相となるに及び、范仲淹・韓琦・富弼^{ふひつ}等皆進用さる。

性、剛簡にして、奉養清儉、文章瞻麗にして、尤も詩に巧。

著に「類要珠玉詞」、文集等がある。

浣溪沙

宋・晏殊

中国名詩選二二六頁

1 一曲新詞酒一杯

2 去年天氣舊亭臺

3 夕陽西下幾時回

4 無可奈何花落去

5 似曾相識燕歸來

6 小園香徑獨徘徊